

**第2次宇都宮市子ども読書活動推進計画（素案）に関する  
パブリックコメントについて**

**1 パブリックコメントの実施状況**

**(1) 意見募集期間**

平成20年12月26日（金）～平成21年1月21日（水）

**(2) 意見の応募者数と件数**

応募者数： 7名 【内訳】 男女内訳： 男1名， 女6名

意見件数： 27件 年代内訳： 30代1名， 40代2名， 50代2名， 60代1名  
未記入1名

**(3) 提出方法の内訳**

	郵送	FAX	Eメール	持ち込み	合計
人数	1	5	1	0	7

**(4) 項目別意見数**

No.	項目	意見数
1	計画全体について	3
2	これまでの取り組みと課題について	7
3	基本的な考え方について	3
4	施策Ⅰ「家庭・地域・学校等における子どもの読書活動の推進」について	7
5	施策Ⅱ「子どもの読書活動の推進体制整備と普及啓発活動の推進」について	4
6	その他	3

**2 意見の概要と市の考え方**

**(1) 計画全体について**

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	この計画には大いに期待している。宇都宮市が“子ども読書のまち”として全国的にも誇れる市になれば、本当にうれしいことである。	市図書館の児童図書の貸出冊数は中核市の中でも上位にあり，地域や学校で子どもの読書に関わるボランティアも年々増加しています。こうした実績を生かし，“子ども読書のまち”の実現に取り組んでまいります。
2	図書館や学校で子どもの読書関係ボランティアとして携わってきた者として，今回の第2次計画におおむね賛同する。市には，その基本的な考え方にたって，子どもの読書活動推進の方策をいっそう進めていってほしい。	
3	“子ども読書のまち宇都宮”という実態はあるのか。これから目指すということか。	

(2) これまでの取組と課題について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	第1次計画の成果として、目に見える数字としても子どもたちの読書量が増えたことが明らかになり、大変うれしくまた誇らしく思う。	本市の子どもの読書量は格段に増加しており、全国平均と比較しても高い水準にあります。これは、全小・中学校における全校一斉読書（朝の読書）、学校図書館司書業務嘱託員の配置、学校図書館図書計画的な購入、小・中学校への市図書館図書の搬送の開始などの取組により、各学校における読書活動の充実が図られたことが大きな要因と考えております。今後は、現在の読書量の維持・増加を目指すとともに、目的に応じた選書や適切な資料の活用などを通して、子どもがより自主的な読書活動に取り組み、読書の効果を多方面へ広げるよう読書の質を高めることに重点を置いてまいります。（第2章-2（1）子どもの1か月の読書量）
2	読書量が短期間にこれだけ増えたことは、子どもたちの潜在的な読書力をうまく引き出すことによるこれからの可能性を強く感じた。ただ、目に見える数字はあくまでもひとつの目安であり、その質と広がり、活用力など、数字以外のことの成長にこそ目を向けてほしいと思う。	
3	これからの課題として分析されているように、これからは、目には見えない読書の質を上げていくことが大事だと思う。	
4	読書生活の生涯にわたる習慣化、定着を図るには、小学校高学年や中高生の時期の読書が重要だが、今現在はまだ弱い部分であり、本のことをよく知る大人の手助けが十分でない状況がある。	ご指摘のとおり、学校段階が進むにつれて読書量が減る傾向にあります。今後は、これまでの取組が薄い高校生等の青少年に対する施策を強化することにより、子どもの成長段階に応じて継続性のある読書活動の推進を図ります。（第2章-4重点テーマと重点事業）
5	計画書を読んで初めて「読書ボランティア」の活動を知った。とても素晴らしい活動だと思うので、もっと周知したほうがいい。	地域や学校、図書館などで、多くの読書ボランティアが活躍しています。今後“子ども読書のまち宇都宮”を進めていくためにも、子どもの読書活動を支える地域の人材育成を重点テーマのひとつとし、周知に努め、活動を支援してまいります。（第2章-4重点テーマと重点事業）
6	ケータイ小説に関して取り上げられていたが、子どもたちには刺激が強いものが多いように感じるので、あまり薦めてほしくない。	ケータイ小説の読書を薦めるという考えは現在のところありませんが、高校生に携帯電話が浸透している状況も踏まえ、図書館の蔵書検索など携帯電話を情報端末として活用することを検討していく予定です。また、司書が各世代に向けブックリストを作成し、良書の紹介に努めてまいります。（第1章-1（3）本市における子どもの読書活動について、第3章I-1家庭における子どもの読書活動の推進、第3章I-2（1）市図書館における子どもの読書活動の推進）
7	中学校の図書室は、昔のイメージは良くないが、今は学校司書がいることもあり、とても楽しい場所になっているようである。	ご指摘のとおり、学校図書館司書業務嘱託員の配置や蔵書の充実等により、学校図書館は、格段に利用しやすく楽しい場所になり、児童生徒の利用も増加しました。今後計画により、更なる充実を図ってまいります。（第3章I-3（2）学校図書館の整備・充実）

(3) 基本的な考え方について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	「もっと。ずっと。グンと。」という目標のスローガンもわかりやすく、活動を推進するという意気込みが感じられて、素晴らしいと思った。	計画の基本目標は、親しみやすくわかりやすい表現を心がけてつくりました。この目標を広く周知し、計画を推進してまいります。(第2章-1 基本目標)
2	個々の計画の達成には、きちんと指標も示されているので、検証を怠りなく着実に具体的方策を積み上げていただけるものと期待する。	第1次計画の指標の達成状況を鑑み、第2次計画でも指標を掲げて計画の進行管理をしてまいります。(第2章-2 計画の指標)
3	子どもだけでなく大人も読むことを目標としたい。目標値を見ると、子どもの読書量は多すぎるくらいかもしれない。	普段の読書だけでなく、調べ学習等で本を使用することも含め、目標値を設定しています。子ども時代からの読書の習慣づけにより、大人になっても読書に親しむということ、最終的な目標としてまいります。(第2章-2 計画の指標、4 重点テーマと重点事業)

(4) 施策Ⅰ「家庭・地域・学校等における子どもの読書活動の推進」について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	小中学生の読書量が飛躍的に増えた背景には、全学校図書館への司書業務嘱託員の配置がある。これから読書の質を高めていく上においても、施設や計画を整備するだけでなく、それを動かしその成否を握るのは人である。学校図書館司書業務を担う人は、本来ならば安定した正規雇用とすることが望ましいが、せめて契約更新を可能にして、資質の向上や経験の蓄積を可能にしなければならない。この点は読書推進の要となると思うので、ぜひご一考願いたい。	ご指摘のとおり、子どもの読書活動の推進にとって、学校図書館司書の役割は、非常に重要であると考えております。本市において、専門的資質の向上した学校図書館司書業務嘱託員が、今後も継続して充実した指導を行うことができるよう、その人的資源を効果的に活かす人材確保の仕組みを検討してまいります。(第3章Ⅰ-3 (1) 学校における子どもの読書習慣の形成)
2	学校図書館司書をせっかく専任にしても、結婚や出産で退職し、毎年のように慣れた頃に交替される。仕事内容や、学校側の協力と理解を、どの学校も同じようにしていただき、長く続けて経験を積み、よい学校司書になっていただけるよう待遇改善をお願いする。	
3	司書の先生が全校に配置され専門性が強化されたことはうれしいことだが、これからより子どもたちに読書の楽しさをアピールできる、人間的にも魅力あふれる方でいてほしい。	学校司書の役割と責任は、子どもの学校生活を充実する上でも、大変大きく重要であると認識しており、専門研修を通して司書の育成に努めてまいります。(第3章Ⅰ-3 (1) 学校における子どもの読書習慣の形成)

4	学校図書館が地域のボランティアの方たちの協力を得て、楽しいイベントをやってみてはどうか。例えば“たてわり班”の子どものグループを単位としたウォークラリーなど。	各学校では、読書週間等において、エプロンシアターや影絵集会などの、読書に親しむきっかけ作りとなる活動に取り組んでおります。今後も児童生徒の興味関心を生かして、教職員とボランティアが協力し合いながら、よりよい読書生活を支援してまいります。(第3章I-3(1)学校における子どもの読書習慣の形成)
5	中高生の読書について、『これだけは読んでほしい』本をリストにして配り、朝読の選書に役立ててほしい。図書館には小学生の学年別おすすめ本の棚はあるが、中学生、高校生向けの棚も目に付くところにおいてほしい。	図書館では小学生のブックリストを作成していますが、今後中学生、高校生向けを作成し、読書活動の支援に役立てていきたいと考えています。また、ご指摘を受け、図書館のヤングアダルトコーナーを中高生により親しんでもらえるよう、本のレイアウトや展示などを工夫していくことを、第3章の具体的方策の「市図書館の整備・充実」中に明記いたしました。(第3章I-2(2)市図書館の整備・充実)
6	子どもたちに読んでもらいたい本を学校や図書館などで具体的にあげてもらえると助かる。	
7	学校図書館の蔵書を充実してほしい。	常に新しい図書への入れ替えをしたり、社会や産業など蔵書数の低いジャンルの図書を増やしたりしながら、計画的な各学校の蔵書の充実に努めます。(第3章I-3(2)学校図書館の整備・充実)

(5) 施策Ⅱ「子どもの読書活動の推進体制整備と普及啓発活動の推進」について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	親自身の意識の向上も大切である。子どもと一緒に読書活動することは、親の楽しみでもあり、視野を広げ、読み聞かせボランティアなど社会参加へのきっかけにもなる。家庭で、子どもが小さいうちだけでなく、大きくなった子どもと本について語り合うなど、親もかかわった形での活動をしたい。	ご意見のとおり、本を読む子を育てるには、親を含む大人の意識改革が不可欠です。本計画では、「親学」の推進とあわせて、「読み聞かせ」や「家読(うちどく)」など家庭での読書活動についての意識啓発に努めるとともに、地域ぐるみで子どもの読書活動の支援を通して大人の読書への理解を促し、生涯に渡る読書を推進してまいります。(第3章I-1 家庭における子どもの読書活動の推進)
2	大人が読書の良さや楽しさを示せば、子どもも興味を持つと思う。周りの大人が読書を楽しむためにも、図書館や学校の図書室を利用し、小学校でも親向けの本などの紹介をすれば、親の啓発になると思う。	
3	子どもたちの主体的な読書活動が継続されるような意識の向上には是非努めていただきたい。	読書活動が地域に根付き、息長く幅広いものとなるよう、学校や図書館、現在活動しているボランティアのみならず、地域団体や民間事業者なども交えた地域ぐるみによる子どもの読書活動への取組を推進してまいります。(第3章II-2(2)総合的な啓発活動の推進)

4	重点事業に「(仮称) 子ども読書のまち宇都宮・市民フェア」があるが、大人の市民の関心を引くにはよいと思うし、楽しみである。昨今の経済状況から、無駄遣いのないようなイベントとして欲しい。	市民フェアは、子どもの読書を地域ぐるみで推進するための啓発事業として検討しているものです。実施にあたっては、地域や学校、関係団体、ボランティア、企業などの参加により、効率な運営に努めてまいります。(第3章Ⅱ-2(2) 総合的な啓発活動の推進)
---	--	---

(6) その他

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	雀宮図書室は児童図書が充実しており、図書室に通い、司書の方から子どもに声をかけてもらったり本の紹介をしてもらったりしたことが、とてもありがたかったと思っている。	雀宮図書室は、生涯学習センター図書室の中で最も蔵書が多く、また、専任の図書奉仕員を配置しております。今後とも、きめ細かいサービスに努めてまいります。
2	高校では電子辞書を使うのが一般的と聞いているが、辞書を引くことによってページをめくったり、調べたいこと以外のことが目に入る良さもある。不便なものを使うことも意味があると思うので、学校では辞書を使ってはどうか。	電子資料と紙の資料の有用性については様々な見解があるようです。いただいたご意見は、今後子どもの読書活動の推進の参考といたします。
3	市立図書館はおはなし会もあり、休日に子どもを連れて行くのによいが、駐車場が足りず、施設が古い。	図書館周辺の駐車場はいつも混みあっておりますので、明保野公園南側の駐車場の案内をするほか、公共交通機関の利用につきましてもパンフレットや館内掲示をお願いしております。施設の改修につきましては、今後図書館サービス計画推進の中で検討してまいります。